

比較的短期の投資アイデア

1/12 付の「マーケット・スナップショット」でも書いたが、リターン・リバーサルが顕著である。昨年パフォーマンスがふるわなかった証券、不動産、銀行などが年初来上昇率ランキングの上位に並ぶ。FA・ロボット関連の電機・機械が相場の主役であるが、日経平均が2万4000円の大台に迫るなか、さすがに高値警戒感もあって出遅れ銘柄を物色しようという動きもあるようだ。この出遅れ修正の流れに乗ってみるのも、ひとつの手である。TOPIX500 構成銘柄のなかで昨年の株価変化がマイナスだったものは94銘柄あるが、そのなかで拾っても良さそうなものをピックアップした。

	2017年価格変化率 (%)	予想経常利益伸び率 (%)		予想PER (倍、NEEDS算出)
		今期・日経	来期・Q1コンセンサス	
9505 北陸電	-30.8	-100.0	330.0	-
7270 SUBARU	-24.9	-3.1	12.7	13.7
7936 アシックス	-23.1	-10.3	4.9	26.4
7261 マツダ	-20.9	16.8	3.1	9.9
9006 京急	-20.1	-15.2	3.5	29.6
8802 菱地所	-15.8	5.4	3.2	25.8
7309 シマノ	-13.6	-18.6	10.5	36.3
4503 アステラス	-11.5	-19.1	11.4	16.1
2802 味の素	-9.9	21.1	8.1	20.8
9508 九州電	-6.9	-31.0	60.2	11.3
8801 三井不	-6.7	3.4	0.5	20.1
4902 コニカミノル	-6.6	-2.7	11.8	18.2
2914 J T	-5.5	-2.3	7.2	16.1
9064 ヤマトHD	-4.6	-28.3	94.7	82.2
7201 日産自	-4.4	-6.9	9.9	8.4
4523 エーザイ	-4.4	1.1	-6.9	46.9
6981 村田製	-3.4	-10.2	26.7	22.8
4578 大塚HD	-2.8	2.0	24.0	31.5
8411 みずほFG	-2.5	7.1	1.0	10.0
9506 東北電	-2.4	-14.0	6.6	12.3
6701 NEC	-1.9	-26.5	7.0	23.2
4217 日立化	-1.0	0.2	25.7	15.2
9437 NTTドコモ	-0.1	13.8	-4.5	13.3

(出所: Quick、Bloomberg)

昨年の業種別下落率のトップは電力株だった。ワースト2位~4位の不動産、証券、銀行が戻るなか電力株はリバーサルの動きから取り残されている。無論、不動産、証券、銀行セクターは単なるリバーサルだけでなくデフレ脱却期待から買われている面もあるので一律に比較できないが、それでも不動産、証券、銀行セクターが戻ったことで電力株の出遅れ感は一層強まっている。

昨年の下落率が3割を超えた北陸電力は、志賀原子力発電所の稼働停止が続き、火力発電のコスト増による収益悪化、そしてそれを受けた無配転落が投資家の離散を招いた。しかし、4月から電気料金の値上げに踏み切る。これを受けて業績は急回復するというのがアナリストの見立てである。しかし、株価は業績回復見通しをまったく織り込んでいない。業績が戻れば、電力株の存在理由とも言える復配に動くだろう。

九州電力には玄海原発再稼働という明確なストーリーがある。再稼働時期について、3号機は2018年3月、4号機は同5月にそれぞれ延期されたが、神戸製鋼のデータ改ざん問題に関連して自社調査に時間がかかるためで九電の落ち度ではない。いずれにせよ原発再稼働で大幅に業績が改善するのはほぼ確実。来期のコンセンサス予想ではPERは6倍まで下がる。僕は電力株は好きではないが、この水準なら拾ってもよいだろう。

昨年は自動車もパフォーマンスが悪かった。言わずもがな、無資格検査問題で売られたわけだが、本質的な問題ではない。とくにマツダは問題がなかったのに連れ安した感がある。このバリュエーションならじゅうぶん買えるだろう。欧州の自動車メーカーと同等のPERだ。折しも、北米国際自動車ショーが開かれ、新たな産業革命の中心には、やはり自動車が来るのだと思わせる発表が相次いでいる。自動運転の本命である日産も、もっと見直されてよいと思う。

昨年のパフォーマンスが13%安と低迷したシマノ。自転車部品の原材料である鋼材やアルミの調達価格の上昇や、ドル安に伴う為替差損が利益を圧迫、下方修正が響いたが、株価は昨年9月につけた安値を底に回復基調にある。そもそもシマノといえば欧州関連株。自転車は欧州では大変人気のあるスポーツだ。その欧州は今、めちゃくちゃ景況感が良い。それが足元のユーロ高の根本にある。欧州景気の回復とユーロ高の恩恵に浴する銘柄である。株価は200日移動平均を抜ける目前まで復調している。

シマノ(7309) 日足チャート



(出所: マネックス証券投資情報サイト)

他の銘柄についての言及は、また追ってしたい。

ご留意いただきたい事項

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先金融機関より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会